

2013 年度点検・評価シート

I 評価項目・担当部局

対象部局	国際比較政治研究所
評価基準 1	理念・目的
点検・評価項目 (1)	1-1 大学・学部・研究科等の理念・目的は、適切に設定されているか。
評価の視点	理念・目的の明確化
	設置の主旨や歴史からみた理念・目的の適切性
	個性化・独自性、国際化への対応
点検・評価項目 (2)	1-2 大学・学部・研究科等の理念・目的が、大学構成員（教職員および学生）に周知され、社会に公表されているか。
評価の視点	構成員に対する周知方法と有効性
	社会への公表方法
点検・評価項目 (3)	1-3 大学・学部・研究科等の理念・目的の適切性について定期的に検証を行っているか。
評価の視点	責任主体・組織、権限、手続きを明確にしているか。また、その検証プロセスを適切に機能させているか。

II 【点検・評価項目ごとの現状説明】

1-1	・本研究所は設立にあたって平成 2 年 10 月 31 日に「国際比較政治研究所規程」を制定し、理念・目的については第 2 条において「研究所は、わが国を含む先進国の政治および発展途上国の比較研究・調査を行い、あわせてトランスナショナルな傾向をも研究・調査し、広く社会科学の発達に寄与することを目的とする」と定め、また、同第 3 条において「1. 研究・調査の実施及びその受託ならびにその成果の発表及び出版、2. 調査研究、資料の収集・整備及び保管、3. 国内外の研究機関及び研究者との交流ならびに共同研究、4. 研究会、講演会等の実施、5. その他前条の目的を達成するために必要な事業」を事業内容として定めている。
1-2	・上記の本研究所の理念・目的および事業内容を定めた大東文化大学国際比較政治研究所規程は学園規則集に掲載され、学内関係者の閲覧に供されている。また、理念・目的および事業内容は簡略化した形で国際比較政治研究所ホームページにおいて公開し、大学構成員および社会に向けて公表・周知を図っている。 ・理念・目的および事業内容に沿って、毎年、年報と ICPS ニュースレターを発行し、それらを関係者・関係機関に送付するとともに、送付時にアンケートを実施することで、研究所の活動について公表・周知を図っている。 ・ただし前述の周知を図る取り組みについては、その有効性を測る有意意味な方途を見いだし得ていない。
1-3	・本研究所の理念・目的の適切性については定期的な検証を行っていないが、2014 年 1 月 15 日開催の第 6 回運営委員会において定期的な検証の必要性を確認し、次年度、運営委員会において検証に着手することとした。

【効果が上がっている事項】

1-1	
1-2	
1-3	

【改善すべき事項】

1-1	・学生教育に対して研究所が果たすべき役割について、理念・目的および事業内容で明記されていない。
1-2	・関係者・関係機関に本研究所の理念・目的について一層の周知を図る。 ・国際比較政治研究所 HP が適時に更新されていない。
1-3	

III 本項目の根拠資料（データ類、裏付けとなる資料）

大学ホームページ／国際比較政治研究所ホームページ、大東文化大学国際比較政治研究所規程、運営委員会議事録

【2014 年度からの達成目標】

【達成目標】 目標の進捗状況は、「S：完全に達成」「A：概ね達成」「B：やや不十分」「C：不十分」で、評価する。

達成目標		目標達成の指標となるもの	評価				
			2014	2015	2016	2017	2018
中期目標 (2014～ 2018)	・運営委員会において理念・目的の検証を定期的に行う。	・運営委員会における理念・目的の検証作業が制度化されている。	→				
	・理念・目的および事業内容を定めた「国際比較政治研究所規程」を改	・「国際比較政治研究所規程」に、学生教育に対して研究所が果たすべき役割が明	→				
			→				

学部附置研究所

	訂し、研究所の活動を学生教育に還元することを明記する。	記されている。					
14 年度 目標	・年報および ICPS ニュースレターに研究所の理念・目的および事業内容を明記する。	・年報および ICPS ニュースレターに研究所の理念・目的および事業内容が記載されている。	→				
	・研究所 HP を適時、更新する。	・研究所 HP が適時に更新されている。	→				
	・理念・目的の定期的な検証に着手する。	・運営委員会において理念・目的の検証を行っている。	→				